令和6年度　年間授業計画

都立多摩工科高等学校

教科	国語	科目	国語演習（基礎）	単位数	2
対象学年・組	３学年選択				
教科担任	谷合				
教科書・副教材	国語必携パーフェクト演習「尚文出版」				

１．目標

① 言語能力（漢字・ことば）の基礎・基本を定着させる。
② 進路活動に向けて、試験や面接に対応する能力を身につける。
③ 論旨を整理して文章を書く能力を身につける。

２．学習内容と学習上の留意点

学期	月	単元	学習の内容・留意点	予定時数
1学期	4	・漢字の読み書き、ことわざ ・原稿用紙の使い方、小論文	・テーマをもとに作文を書き、原稿用紙の使い方について、自身が正確な知識を持ち、実践できているかを確認する。	4
	5	・漢字の読み書き、ことわざ ・原稿用紙の使い方、小論文	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・作文と小論文の違いを理解し、適切な原稿用紙の使い方を習得する。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解し、段落構成を意識させた、小論文の記入法を指導する。	4
	6	・漢字の読み書き、ことわざ ・段落構成、書き言葉		6
	7	一般常識問題、就職試験対応問題、小論文指導	・自分の進路に合わせたテーマ・課題に従って，具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を身につけさせる。	2
	１学期予定授業時数			16
2学期	9	一般常識問題、就職試験対応問題、小論文指導	・自分の進路に合わせたテーマ・課題に従って，具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を身につけさせる。	6
	10			6
	11	・漢字の読み書き、ことわざ ・手紙の書き方	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・手紙の書き方や、社会人として必要な一般常識を身	8
	12	・敬語表現	・敬語表現について学び、社会人として必要な一般常識を身に付けさせる。	2
	2学期予定授業時数			24
3学期	1	・漢字の読み書きことわざ ・連絡文の書き方	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・状況に即した文章の書き方を実践的に身に付けさせ	6
	2			6
	3			4
	3学期予定授業時数			16
年間授業時数合計				56

３．評価の観点及び方法

（１）小テスト
（２）提出物
（３）授業態度　①発言　②参加　③出席状況

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　地理歴史　科目　近現代史と人間の生き方

教　科：　地理歴史　　科　目：　近現代史と人間の生き方　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択

教科担当者：　（Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択：南山）

使用教科書：（　明解　歴史総合　（帝国書院）　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　近現代史と人間の生き方　の目標：　近現代史に対する歴史的な見方・考え方を働かせ、社会的事象と人間の生き方に関する諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史の歴史の変化と人間の生き方に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代史の歴史の変化と人間の生き方に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史と人間の生き方に関する諸課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化と人間の生き方に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化、生き方の多様性を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「近現代史と人間の生き方に関する探究」 【知識及び技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・教科書 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	18
	「欧米諸国の近代化と国民国家形成」 【知識及び技能】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのかに着目して、比較したり関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのかについて興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・イギリスの革命とアメリカの独立 ・フランス革命、国民意識の芽生え ・産業革命とイギリスの繁栄 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのか理解する。 【思考・判断・表現】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したかに着目して、比較したり関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したかについて興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2学期	「近現代史と人間の生き方に関する探究」 【知識及び技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・教科書 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	18
	「近代化が進む日本と東アジア」 【知識及び技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定を基に立憲体制と国民国家が形成される過程と日清・日露戦争を経た国際秩序の変容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における立憲体制と国民国家の形成過程と国際秩序の変容について、国際関係や帝国主義と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本における立憲体制と国民国家の形成過	・新政府の誕生 ・近代国家を目指す日本 ・日本と清の近代化と日清戦争 ・列強の中国進出と日露戦争 ・日露戦争が与えた影響 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法を基に立憲体制や国民国家の考え方を理解し、日清・日露戦争による国際社会の変容について適切に理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の考え方や国際秩序の変容について、帝国主義政策やアジアに与えた影響などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定や、日清・日露戦争による国際社会の変容に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	14

	程と国際秩序の変容に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。						
	定期考査			○	○		1
3学期	「 近現代史と人間の生き方に関する探究」 【知識及び技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・教科書 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	4
	「日本の行方と第二次世界大戦」 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策を基に国際協調体制の動揺について学び、第二次世界大戦の背景と展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、資料に基づいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・世界恐慌が与えた影響 ・ファシズムの台頭と拡大 ・政党政治の断絶と満州事変 ・日中戦争の始まり ・第二次世界大戦の展開 ・戦局の悪化と被害の拡大 ・第二次世界大戦の終結とその惨禍 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、適切に理解している。 【思考・判断・表現】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、資料を参照しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	5 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　数学　　科目　数学基礎演習

教　科：　数学　　科　目：　数学基礎演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年

教科担当者：川畑

使用教科書：（ 完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング・実教出版 ）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学基礎演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校２年生までに学んだ数学の復習をしながら、数学を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	学び直した内容をもとに、数学をより深く捉えて事象を的確に表現し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、就職試験等自らの進路決定に数学を積極的に活用する態度の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	数の計算 比率と割合 文字式・整式の計算 乗法公式・因数分解 無理数の計算 方程式	○実数の演算 ○虫食い算 ○割合 ○整式の計算 ○乗法公式・因数分解 ○平方根の計算・分母の有理化 ○１次方程式・２次方程式 ・連立方程式	【知識・技能】 数の演算の計算ができる。指数法則や分配法則を用いて計算ができる。公式を理解し、展開や因数分解ができる。割合を理解している。平方根の計算ができる。いろいろな方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 少し複雑な式の計算を工夫して行うことができる。様々な平方根の計算を工夫して行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		2
2学期	不等式 関数とグラフ 図形と角 平行線と線分の比 図形の面積・体積 三角比	○１次不等式・連立不等式 ○１次関数・２次関数 ○いろいろな図形の角度 ○平行線と線分の比 ○いろいろな図形の面積・体積 ○三角比	【知識・技能】 いろいろな不等式を解くことができる。関数の意味を理解することができる。いろいろな図形の角度を求めることができる。 【思考・判断・表現】 平行線の入った図形の比を利用して線分の長さを求めることができる。いろいろな図形の特徴を生かしながら、面積や体積を求めることができる。三角比を利用して、三角形の辺の長さや面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2
3学期	集合と要素 場合の数と確率	○集合 ○場合の数 ○確率	【知識・技能】 集合の基本を理解することができる。場合の数や確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 少し複雑な場合の数や確率を工夫をしながら求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		合計 46

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　数学　　科目　数学Ｃ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ｃ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年

教科担当者：吉田

使用教科書：（ Standard 数学Ｃ・東京書籍 ）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学Ｃ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１章　ベクトル １節　平面上のベクトル	1　平面上のベクトル 2　ベクトルの分解 3　ベクトルの成分 4　ベクトルの内積	【知識・技能】 ・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解している。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。	○	○	○	8
	２節　ベクトルの応用	1　位置ベクトル 2　ベクトル方程式	【思考・判断・表現】 ・実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。				6
	３節　空間におけるベクトル	1　空間のベクトル 2　空間座標と空間のベクトル 3　空間のベクトルの内積 4　位置ベクトルと空間の図形	【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				8
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	2章　平面上の曲線 1節　2次曲線	1　放物線，楕円，双曲線 2　2次曲線と平行移動 3　2次曲線と直線 4　2次曲線と離心率	【知識・技能】 ・放物線、楕円、双曲線が2次式で表されること及びそれらの2次曲線の基本的な性質について理解している。 ・曲線の媒介変数表示について理解している。 ・極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることについて理解している。	○	○	○	8
	2節　媒介変数表示と極座標	1　曲線の媒介変数表示 2　極座標と極方程式	【思考・判断・表現】 ・放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。				6
			【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。				
	3章　複素数平面 1節　複素数平面	1　複素数平面 2　複素数の極形式 3　ド・モアブルの定理	【知識・技能】 ・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。 ・ド・モアブルの定理について理解している。	○	○	○	8
	2節　図形への応用	1　2直線のなす角 2　複素数平面上の図形	【思考・判断・表現】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。				6
	定期考査			○	○		2
3学期	4章　数学的な表現の工夫 2節　行列に表す	1　行列とその加法・減法 2　行列の乗法とその性質 3　行列の乗法の活用	【知識・技能】 ・日常の事象や社会の事象などを、行列を用いて工夫して表現することの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 ・行列を用いて、日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などを数学を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	4
							合計 57

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　数学　　科目　発展数学

教　科：　数学　　科　目：　発展数学　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年

教科担当者：吉田

使用教科書：（ Standard 数学Ⅲ・東京書籍　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　発展数学　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１章　関数と極限 １節　関数	1　分数関数とそのグラフ 2　無理関数とそのグラフ 3　逆関数と合成関数	【知識・技能】 ・数列の極限について理解し，数列｛rn｝の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることができる。 ・無限級数の収束，発散について理解し，無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。 ・簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ・合成関数や逆関数の意味を理解し，簡単な場合についてそれらを求めることができる。 ・関数の値の極限について理解している。	○	○	○	4
	２節　数列の極限	1　数列の極限 2　無限等比数列 3　無限級数	【思考・判断・表現】 ・式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして，極限を求める方法を考察することができる。 ・既に学習した関数の性質と関連付けて，簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察することができる。 ・数列や関数の値の極限に着目し，事象を数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を関数と極限の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。				6
	２章　微分 １節　微分法	1　導関数 2　積・商の微分法 3　合成関数の微分法	【知識・技能】 ・微分可能性，関数の積及び商の導関数について理解し，関数の和，差，積及び商の導関数を求めることができる。 ・合成関数の導関数について理解し，それを求めることができる。 ・三角関数，指数関数及び対数関数の導関数について理解し，それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・導関数の定義に基づき，三角関数，指数関数及び対数関数の導関数を考察することができる。 ・関数の連続性と微分可能性，関数とその導関数や第2次導関数の関係について考察することができる。	○	○	○	4
	２節　いろいろな関数の導関数	1　三角関数の導関数 2　対数関数・指数関数の導関数 3　高次導関数	【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。				4
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	３章　微分の応用 １節　関数の増減	1　接線の方程式 2　関数の増減 3　第2次導関数とグラフ	【知識・技能】 ・導関数を用いて，いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり，いろいろな関数の値の増減，極大・極小，グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し，事象を数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○	10
	２節　微分のいろいろな応用	1　最大・最小 2　方程式・不等式への応用 3　速度・加速度 4　近似式	【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分の応用の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。				6
	４章　積分とその応用 １節　不定積分	1　不定積分 2　置換積分法 3　部分積分法 4　いろいろな関数の不定積分	【知識・技能】 ・不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め，それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 ・置換積分法及び部分積分法について理解し，簡単な場合について，それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 ・定積分を利用して，いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めることができる。	○	○	○	6
	２節　定積分	1　定積分 2　定積分の置換積分法と部分積分法 3　定積分で表された関数 4　定積分と区分求積法	【思考・判断・表現】 ・関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして，いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察することができる。 ・極限や定積分の考えを基に，立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。 ・微分と積分の関係に着目し，事象を数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。				8
	定期考査			○	○		2
3学期	４章　積分とその応用 ３節　面積・体積・長さ	1　面積 2　体積 3　曲線の長さと道のり	【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を積分とその応用の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	4
							合計 55

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　理科　　科目　化学演習

教　科：　理科　　科　目：　化学演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択

教科担当者：（Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択：石原）

使用教科書：（　　）

教科　化学演習　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　化学演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面内を運動する物体の運動と電気や磁気などについて、基本的な概念・原理・法則などを理解し、観察や実験などを通して科学的に探究する力を身に付ける。	予想、実験、考察という科学的な考え方を定着し、また、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活と物理との関連性に気付き、物理を学習する意義を理解させとともに、科学的な考え方や見方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・物質量と化学反応式についての実験などを通して，物質量，化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質量，化学反応式について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・酸・塩基と中和について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・酸化と還元について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学について主体的に関わり，見	・実験を通じて法則や性質等を学習する。	【知識・技能】 化学と物質についての実験などを通して，化学の特徴について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学の特徴について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査なし						0
2学期	【知識及び技能】 ・炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・炭化水素について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・官能基をもつ化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・芳香族化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	・有機化合物を合成する実験を通じて、物質の性質を学ぶ。	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して，その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 有機化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。				30
	定期考査なし						0
3学期	【知識及び技能】 ・炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・炭化水素について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・官能基をもつ化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・芳香族化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物について主体的に関わ	・有機化合物を合成する実験を通じて、物質の性質を学ぶ。	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して，その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 有機化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査なし						0
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　理科　　科目 物理演習

教　科：　理科　　科　目：　物理演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組～　G 組

教科担当者：（　A組：村上　）（　B組：村上　）（　E組：村上　）（　F組：村上　）（　G組：村上　）

使用教科書：（　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　物理演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面内を運動する物体の運動と電気や磁気などについて、基本的な概念・原理・法則などを理解し、観察や実験などを通して科学的に探究する力を身に付ける。	予想、実験、考察という科学的な考え方を定着し、また、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活と物理との関連性に気付き、物理を学習する意義を理解させとともに、科学的な考え方や見方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　様々な運動 【知識・技能】 ・剛体に働く力、平面の運動を理解する。 ・放物運動、円運動を理解する。 【思考・判断・表現】 ・図を用いて力と運動を表現、判断することができるようになる。 ・実験器具を正しく使用しつつデータを適切に解析することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・剛体に働く力と平面の運動については、力のつり合いと合成、力のモーメント、運動の法則の観点から理解をさせる。 ・放物運動と円運動については、斜方投射と空気抵抗がある場合の運動、等速円運動を理解させる。	【知識・技能】 ・複数の力を合成、分解することができる。 ・力のモーメントを求めることができる。摩擦力等で、剛体に働く力、平面の運動を求めることができる。 ・摩擦力で平面の運動を求めることができる。 ・斜方投射と空気抵抗のある場合の運動、円運動の観点から放物運動と円運動について求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・力と運動について、表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	10
	定期考査						0
	【知識・技能】 ・運動量、万有引力を理解する。 ・単振動について理解する。 【思考・判断・表現】 ・図を用いて力と運動を表現、判断できるようになる。 ・実験器具を正しく使用しつつデータを適切に解析することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・運動量と力積、ケプラーの法則（万有引力）について理解させる。 ・単振動について、振り子を例に理解をさせる。	【知識・技能】 ・運動量と力積の関係、運動量保存、万有引力について理解し、用いることができる。 ・単振動について、振り子を例に働く力などを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・力と運動について、表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2学期	B　電界と電位 【知識・技能】 ・静電気と電場について理解する。 ・電位、電場の中の物体、コンデンサーについて物理的観点で理解する。 【思考・判断・表現】 ・図やグラフで電界と電位を表現したり読み取ることができるようになる。 ・電界と電位についてを理解し、説明することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電界と電位について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・静電気と電界については、電気量保存の法則、クーロンの法則、ガウスの法則などから理解をさせる。 ・電位、電場の中の物体、コンデンサーについては、静電気力による位置エネルギー、コンデンサーの直列と並列などの観点から、理解をさせる。	【知識・技能】 ・静電気と電界について、諸々の理論を用いて求めることができる。 ・電位、電場の中の物体、コンデンサーについて、学んだ内容を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・電界と電位について、表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電界と電位について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。				15
	定期考査						0
	C　電気回路 【知識・技能】 ・電流、直流回路について、その法則などを理解する。 【思考・判断・表現】 ・図や回路図などを踏まえて理解し、それを説明、表現することができるようになる。 ・実験等のデータを分析、表現することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。 D　電流と磁界 【知識・技能】 ・電流と磁界の様子を理解する。 【思考・判断・表現】 ・図や回路図などを踏まえて理解し、それを説明、表現することができるようになる。 ・実験等のデータを分析、表現することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流と磁界について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・オームの法則、キルヒホッフの法則を回路図と方程式で理解をさせる。 ・電流とは何たるかを既習の内容を発展させて理解させる。 ・磁界、電流の作る磁場、ローレンツ力について、図などを用いつつ理解をさせる。	【知識・技能】 ・電流、直流回路、磁場について、その法則などを理解して解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・電流とは何か、直流回路周りのことについてを説明することができる。 ・電流と直流回路について、実験等のデータを分析、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流と直流回路について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。 【知識・技能】 ・電流、直流回路、磁場について、その法則などを理解して解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・電流とは何か、直流回路周りのことについてを説明することができる。 ・電流と直流回路について、実験等のデータを分析、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流と直流回路について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。				14
	定期考査			○	○		1
3学期	【知識・技能】 ・電磁誘導について、理解することと、求めることができる。 ・交流と電磁波について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・概念などをとらえ、表現することができるようになる。 ・理解したことを説明することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電磁誘導と電磁波について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・誘導起電力、自己誘導と相互誘導、モーターの仕組みなどについて学び、求めさせる。 ・直流と交流、様々な電磁波、電磁波の利用などについて学び、それらを求めさせる。	【知識・技能】 ・電磁誘導について、誘導起電力、自己誘導と相互誘導、モーターの仕組みなどについて学び、求めることができる。 ・交流と電磁波について、直流と交流、様々な電磁波、電磁波の利用などについて学び、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・実験などを通し、電磁誘導と電磁波の概念を考え、表現することができる。 ・電磁誘導と電磁波について理解したことを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電磁誘導と電磁場について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　保健体育　　科目 必修選択体育

教　科：　保健体育　　科　目：　必修選択体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　G 組

教科担当者：池上・山中

使用教科書：（　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】運動特性に応じた技能、社会生活における健康・安全について理解し、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　必修選択体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通し、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性を理解し身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通じ、公正に取り組み協力し、自己の責任を果たし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バスケットボール ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、スマッシュ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	陸上競技 【知識及び技能】 記録と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	走り幅跳び ・助走と跳躍技術 ・測定方法 ターボジャブ投げ ・助走と投擲動作 １５００m走 ・ペース配分と走フォーム	【知識・技能】 自己に適した動作や競技を行っている。 【思考・判断・表現】 課題に応じた練習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や目標に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
2学期	陸上競技 【知識及び技能】 記録と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	走り幅跳び ・助走と跳躍技術 ・測定方法 ターボジャブ投げ ・助走と投擲動作 １５００m走 ・ペース配分と走フォーム	【知識・技能】 自己に適した動作や競技を行っている。 【思考・判断・表現】 課題に応じた練習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や目標に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バレーボール ・個人的技術（サーブ、スパイク） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	12
3学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バスケットボール ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、スマッシュ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6 合計 48

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　外国語　科目　英語演習Ⅱ

教　科： 2　　科　目： 英語演習Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：甘利　朋子

使用教科書：（ Watching light 2023-2024（浜島書店）　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外のの文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目　英語演習Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の５領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。また、あるトピックについて英文及びパワーポイントなどを使用し、プレゼンテーションができる能力を養う。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 英語の文の現在完了形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞、一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson 1　Harami chan Lesson 2 J. League's 30th Anniversary ・動名詞・不定詞を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の文の現在完了を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した現在完了を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 英語の動名詞、名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson3 High School Deer Dancing Club Lesson 4 Queen Elizabeth Ⅱ ・It is構文の用法・未来形を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した名詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	【知識及び技能】 英語の関係代名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識することができる。	Lesson 5 Restoring Shuri Castle Lesson 6 Kiwi, Icon of New Zealand ・接続時と同格の用法を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の関係詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞を用いて科学について相手に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学の面白さを再認識しようとしている。	○	○	○	8
				○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の名詞を修飾する分詞・受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞や受動態を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解できる。	Lesson 7 Ishikawa Yuki Lesson 8 What can we do in the Metaverse? ・助動詞・不定詞の用法を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の分詞、受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞、受動態を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○			○		○	○		1
3学期	【知識及び技能】 英語の比較を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他国の文化について考えを深めることができる。	Lesson 9 Osagari Culture in Tanegashima Lesson 10 Cup Noodles ・接続詞の用法を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の不定詞、比較を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他国の文化について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1 合計 48

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３年選択用） 教科 家庭科　　科目 生活実践

教　科：　家庭科　　科　目：　生活実践　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　ABEG組

教科担当者：石原久仁子

使用教科書：　実教出版　図説　家庭基礎７０７　　）

教科　家庭科　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭の意義，社会とのかかわりについて理解を深め，それらにかかわる技能を身につけている

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする

科目　生活実践　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、自立した生活をおくるための基礎的な知識と技能および、生活を豊かにするための知識と技能を身につけている。	生涯を見通して，生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	自立に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善する。地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 被服製作実習 和服の平面構成 和洋服としての立体構成	甚平製作 上着（和服としての平面構成） ［使用教材・道具］ ミシン、アイロン、裁縫セット 甚平製作用教材セット	【知識・技能】 観点）和服の平面構成、技法を理解できる。 評価） 実習成果物の正確さ、実習技能、課題プリント 【思考・判断・表現】 観点）説明書を見て被服構成を理解し、製作することができる。あるいは説明を聞いて理解することができる。表現豊かに着装を行うことができる。 評価） 実習作業の経過観察、課題プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 観点）和の文化に興味を持ち、積極的に調べ、学ぶ姿勢が見られる。 将来の生活において、学んだことを生かすことを思い描き、楽しみを見出すことができる。 評価） 課題プリント、実習成果物の工夫、積極性、	○	○	○	26
	定期考査　なし						
2学期	A被服製作実習 B茶道体験 C調理実習	甚平パンツ（和洋服としての立体構成） 和小物　（巾着・袱紗等） 簡略なお点前 お茶のいただき方 日本の文化としての茶道理解 和食 洋食 エスニック 製菓 （生徒の興味関心に応じた課題設定）	【知識・技能】 観点）和服の平面構成と立体構成の技法の違いを理解できる。日本の文化として和服や茶道の歴史を捉える。調理技術を習得する。 評価） 実習成果物の正確さ、実習技能、課題プリント 【思考・判断・表現】 観点）説明書を見て被服構成や調理法を理解し、製作することができる。あるいは説明を聞いて理解することができる。食分野においては、他国との比較において、和食への理解を深めている。表現豊かに、着装、食の表現、点前を行うことができる。 評価） 実習作業の経過観察、課題プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 観点）和の文化に興味を持ち、積極的に調べ、学ぶ姿勢が見られる。 将来の生活において、学んだことを生かすことを思い描き、楽しみを見出すことができる。 評価）	○	○	○	28
	定期考査　なし						
3学期	C　調理実習 D　和文化の振り返り	季節・行事食 製菓 （生徒の興味関心に応じた課題設定） 年間の学習内容を振り返る	【知識・技能】 観点）日本の文化として和食をとらえ、そこで学んだ事柄を感じながら調理技術を習得する。 評価） 実習成果物の正確さ、実習技能、課題プリント 【思考・判断・表現】 観点）説明書を見て調理法を理解し、作ることができる。あるいは説明を聞いて理解することができる。他国との比較において、和食への理解を深めている。食を豊かに表現することができる。 評価） 実習作業の経過観察、課題プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 観点）和の文化に興味を持ち、積極的に調べ、学ぶ姿勢が見られる。 将来の生活において、学んだことを生かすことを思い描き、楽しみを見出すことができる。 評価）	○	○	○	16
	定期考査　なし						
							合計 70

年間授業計画　新様式例

多摩工科 高等学校　令和6年度（3学年）　教科　　工業　　科目　選択自動車工学

教　科：　工業　　科　目：　選択自動車工学　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　B　組

教科担当者：（　A組：高野　　）　（　B組：高野　　）　（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 自動車工学1・2（実教出版）　　）

教科　工業

科目　選択自動車工学

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識および観察・実習の技能を習得し，実際に活用できる能力と態度が身についている。	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識・技術に課題等を見つけ出し，自ら思考・判断し，創意工夫して課題解決する能力が身についている。	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち，意欲的に探究するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第6章　ブレーキ装置 1節　ブレーキ装置の役割 2節　ブレーキ装置の構造と作用	・ブレーキ作動時の諸現象および関係する法規とを関連づけて理解させる。 ・ブレーキ装置と制動時の安定性を向上させるための装置について理解させる。	【知識・技能】 ブレーキ作動時の諸現象および関係する法規とを関連づけて理解し，自動車の安全確保に関する知識等を習得し，実習などで観察し，実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 自動車の走行を減速・停止させるためのブレーキ装置と制動時の安定性を向上させるための装置などについて，自ら思考を深める能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各種ブレーキ装置の構造・作動について関心を持ち，意欲的に探究するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。	○	○	○	8
	定期考査なし						
	第７章　シャシ・ボデー １節　シャシ ２節　ボデー	・ボデー・フレームの構造と事故の軽減との関連について理解させる。 ・ボデー・フレームについて理解す、予防安全と衝突安全について理解させる。	【知識・技能】 ボデー・フレームの構造と事故の軽減との関連について理解し，自動車の安全対策と安全装置に関する知識と技術を習得し，実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 シャシ・ボデーについて理解し，予防安全と衝突安全について，自ら思考を深める能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 乗用車では，ボデーとフレームが一体になった構造のものが多く用いられている。ボデーの形式や構造，フレームの骨組みおよび自動車の安全について関心を持ち，意欲的に探究するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第8章　走行と性能 1節　走行抵抗と駆動力 2節　直線走行性能 3節　コーナリング性能 4節　乗り心地性能	・走行時の諸現象および関係する法規との関連について理解させる。 ・走行時の性能特性ならびに性能試験の種類等について理解させる。	【知識・技能】 走行時の諸現象および関係する法規との関連について理解し，グラフや表を読み取り，自動車の性能に関する知識と技術を習得し，実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 走行時の性能特性ならびに性能試験の種類等について理解し，自動車の性能に関係する最適な数値処理を活用し，適切な判断に基づいて創意工夫しながら数値処理を行う能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自動車の持っている性能と走行が，どのようにかかわっているのかについて関心を持ち，意欲的に探究するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。	○	○	○	8
	定期考査なし						
	第9章　自動車の電気･電子技術 1節　バッテリ 2節　スタータ 3節　発電装置 4節　保安装置 5節　自動車の電子制御装置	・各種の電気装置の原理と動作，電気的現象，電気装置の活用方法や電子制御技術の基礎的な内容を理解させる。 ・自動車の電気装置の構造・機能および部品に発生する電気的現象について理解させる。	【知識・技能】 各種の電気装置の原理と動作，電気的現象，電気装置の活用方法や電子制御技術の基礎的な内容を理解し，原理と作動を実習などで観察し，実際に活用できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】				

			自動車の電気装置の構造・機能および部品に発生する電気的現象について理解し，最適な数値処理を活用し，適切な判断に基づいて創意工夫しながら数値処理を行う能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自動車の電気装置には，電源となるバッテリや発電装置，保安装置などがある。電気装置のしくみや働きおよび電気・電子の性質について関心を持ち，意欲的に探求するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第10章　自動車の予防安全と衝突安全 1節　予防安全装置 2節　さらに進んだ予防安全 3節　衝突安全装置	・予防安全装置および衝突安全装置が必要とされる意味を考え、基礎的な原理と動作を理解させる。	【知識・技能】 予防安全装置および衝突安全装置が必要とされる意味を考え理解し，基礎的な原理と動作を理解し，実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 自動車の安全について理解し，予防安全と衝突安全について，自ら思考・判断し，さらに，自ら自動車の安全対策などに取り組む能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自動車の安全について関心を持ち，予防安全装置および衝突安全装置の違いと,実社会での意味について意欲的に探究するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　工業　　科目 マルチメディア技術

教　科：　工業　　科　目：　マルチメディア技術　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　全 組

教科担当者：（　　高橋　　）

使用教科書：（ 自作プリント　　）

教科　工業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】マルチメディアで扱う文字･音声･静止画像･動画像などの表現メディアの特性を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】適切なメディアを選択・利用してマルチメディア文書やWebページを作成できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】マルチメディアに興味を持ち、実際にどのように利用されているかを探求できるようになる。

科目　マルチメディア技術　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
マルチメディアで扱う文字･音声･静止画像･動画像などの表現メディアの特性を理解する。	適切なメディアを選択・利用してマルチメディア文書やWebページを作成できるようになる。	マルチメディアに興味を持ち、実際にどのように利用されているかを探求できるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**マルチメディア技術** 【知識及び技能】 マルチメディアの特性やそれに応じたデジタル化技術や伝送方法・マルチメディアの活用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報発信の用途に合わせて、適切な表現メディアを選択できるようになる。	教材：自作プリント ○マルチメディアとは ○メディアの種類と特徴 ○マルチメディアの入力・出力・記憶装置 ○静止画像・動画像 ○情報の圧縮と伸張 ○ファイル圧縮 ○コーデック・コンテナ・コーデックエラー	【知識・技能】 マルチメディアとはどのようなものかを理解している。 【思考・判断・表現】 情報を発信するために、マルチメディアで使用する文字・音声・静止画像・動画像などの表現メディアを適切に選択して利用することができる。	○	○		3
	マルチメディアのデジタル化技術 【知識及び技能】 標本化定理を理解させ、A-D変換器の標本化・量子化・符号化という働きおよびD-A変換器について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 A-D変換器を利用してアナログデータをデジタルデータに変換する方法を理解し、計算式から理論値を算出できるようになる。	教材：自作プリント ○アナログとデジタルの特徴 ○マルチメディア情報伝送システム ○A-D変換器 ○標本化・量子化・符号化	【知識・技能】 A-D変換、D-A変換などのデジタルに関する知識を有し、圧縮技術を含めたマルチメディアを扱うための基本的な知識を身に付け、これらの技術が現代社会のマルチメディア処理システムに不可欠で有意義であることを理解している。 【思考・判断・表現】 A-D変換器を利用してアナログデータをデジタルデータに変換する方法を理解しており、計算式から理論値を算出することができる。	○	○		3
	Webページ作成（HTML） 【知識及び技能】 HTML言語を使ってWebページを作成できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよいインターフェースを目指しWebデザインを試行錯誤する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら様々なタグについて調べ活用しWebページを作成できるようになる。	教材：自作プリント 機材：PC ○HTMLとは ○タグの使用用途 ○Webページを作ってみよう	【知識・技能】 各タグの役割を理解している。HTML言語を使ってWebページを作成できるようになる。 【思考・判断・表現】 好ましいヒューマンインターフェースに則り、色使いやデザインを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なタグについて調べ、それを活用しWebページを作成している。	○	○	○	6
	授業内テスト			○	○		1
2学期	**Webページ作成（CSS）** 【知識及び技能】 CSSを使ってWebページを作成できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよいインターフェースを目指しWebデザインを試行錯誤する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら様々なタグについて調べ活用しWebページを作成できるようになる。	教材：自作プリント 機材：PC ○CSSとは ○タグの使用用途 ○Webページを作ってみよう	【知識・技能】 各タグの役割を理解している。CSSを使ってWebページを作成できるようになる。 【思考・判断・表現】 好ましいヒューマンインターフェースに則り、色使いやデザインを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なタグについて調べ、それを活用しWebページを作成している。	○	○	○	20
	授業内テスト			○	○		1
3学期	**Webページ作成（JavaScript）** 【知識及び技能】 JavaScriptを使ってWebページを作成できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 試行錯誤し、予期通りの動作を目指す。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら様々なコードについて調べ活用しWebページを作成できるようになる。	教材：自作プリント 機材：PC ○JavaScriptとは ○コードの使用用途 ○Webページを作ってみよう	【知識・技能】 各タグの役割を理解している。JavaScriptを使ってWebページを作成できるようになる。 【思考・判断・表現】 予期通りの動作をさせることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なコードについて調べ、それを活用しWebページを作成している。	○	○	○	6
	授業内テスト			○	○		1
							合計 41

年間授業計画　新様式例

高等学校　令和6年度（3学年選択）教科　　工業　　科目　電気工事基礎

教　科：　工業　　科　目：　電気工事基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　E　組～　　組

教科担当者：（　E組：秋田　　（　組：　　）　　（　組：　　）　　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（　　）

教科　工業　　の目標：

【知識及び技能】電気の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】電気に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築を目指して自ら学び，電気の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　電気工事基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第1種電気工事士合格の知識と技能の育成。	過去問の演習を通して合格力の養成。	継続して努力する姿勢を持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読		評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	高圧受電設備に用いられる機器の理解させる。	以下の機器の機能と役割を指導する。 ・区分開閉器　・断路器 ・眞空遮断器　・計器用変成器　・高圧交流負荷開閉器　・変圧器　・進相コンデンサ　・直列リアクトル	○	○	○			○	○	○	8
	・単線結線図を理解させる。 ・シーケンス技術を理解させる。	単線結線図の内容として　・PF・S形高圧受電設備の単線結線図　・CB形高圧受電設備の単線結線図　シーケンス技術内容として　・シーケンンスの基本回路　・シーケンスによる電動機制御	○	○	○			○	○	○	8
	電気工事材料の種類や使用場所を理解させる。	高圧受電設備に使用される電線やケーブルおよび電線管について理解させる。また電気設備基準に基づき、これら電線やケーブル、電線管の施設方法を指導する。	○	○	○			○	○	○	8
	・電気機器の特性や始動方法を理解させる。　・発送電及び変電に関する知識の習得。	誘導電動機の始動の種類やその適用について指導する。水力、火力発電の基礎的事項について指導する。また送電については、雷害対策や電圧降下計算など指導する。変電については、調相設備や力率改善の方法、高調波対策のついて指導する。	○	○	○			○	○	○	8
2学期	・技能試験の基礎を訓練する。	高圧ケーブル、制御ケーブルの接続。変圧器回路の結線を主に指導する。また単線結線図を複線図に変換する方法を指導する。	○	○	○			○	○	○	12
	過去の技能試験問題の演習	今年度発表された候補問題10題について繰り返し演習を行い、その都度、生徒の完成させた課題を点検し、間違いや不備な箇所があれば、指摘し指導する。	○	○	○			○	○	○	20
3学期	高圧電気事故とその対応について	地絡方向継電器や過電流継電器の働きや動作について指導する。	○	○	○			○	○	○	6
											合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　３年選択　　科目 チャレンジライセンスⅡ

教　科：　３年選択　　科　目：　チャレンジライセンスⅡ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　G　組～　　組

教科担当者：（G組：土橋　　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（　乙種危険物取扱者受験教科書（向学院）　　）

教科　３年選択　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　チャレンジライセンスⅡ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
危険物取扱者の資格試験等にも対応できるだけの基礎的な知識，技術を身につけている。計算技術検定の３級にも対応できる技術を身につけている。エコ検定の学習を通してＳＤＧｓの知識を環境保全に生かせる知識を身につける。	危険物の性質にもとづいて，それらの適切な貯蔵や取扱い方法を考えることが出来る。計算機能を十分に活用し日々の授業に応用できる。エコ検定の学習を通してＳＤＧｓを実践できる能力を身につける。	危険物取扱者,計算技術検定、エコ検定などの資格取得をめざしている。合格するための努力ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 計算技術検定３級 【知識及び技能】 関数電卓を使い答えの表し方について理解し、説明をすることが出来る. 【思考力、判断力、表現力等】 計算技術検定３級の四則・関数・実務の練習問題を８割正解することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復習することが出来る。	・指導事項 ①四則計算の問題演習 ②関数計算の問題演習 ③実務計算の問題演習 ④検定試験 ・教材 ３級計算技術検定問題集 ・関数電卓	【知識・技能】 ①電卓の使い方、計算の仕方、答えの表し方について理解できる。 ②四則演算・関数・実務の解法の仕方を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①計算技術検定３級の四則・関数・実務の練習問題を合格するレベルまで正解することができる。【主体的に学習に取り組む態度】 ① 積極的に練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	B 計算技術検定３級・２級 【知識及び技能】 関数電卓を使い答えの表し方について理解し、説明をすることが出来る. 【思考力、判断力、表現力等】 計算技術検定３級の四則・関数・実務の練習問題を８割正解することが出来る。 ・計算技術検定２級の関数の練習問題を８割正解することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復習することが出来る。	・指導事項 ①四則計算の問題演習 ②関数計算の問題演習 ③実務計算の問題演習 ④検定試験 ・教材 ３級計算技術検定問題集 ２級計算技術検定問題集 ・関数電卓	【知識・技能】 ①電卓の使い方、計算の仕方、答えの表し方について理解できる。 ②四則演算・関数・実務の解法の仕方を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①計算技術検定３級の四則・関数・実務の練習問題を合格するレベルまで正解することができる。 ②計算技術検定２級の関数の練習問題を合格するレベルまで正解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 積極的に練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	C 危険物に関する法令 【知識及び技能】 物理学と化学の基礎知識について理解し、説明をすることが出来る。 危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法について理解し、説明をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 危険物取扱者乙種の練習問題を８割正解することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復習することが出来る。	・物理学と化学の基礎知識 ①基礎的物理学および基礎的化学 ②燃焼の基礎知識 ③消火に関する基礎知識 ・危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法 ④第四類危険物以外の危険物の概要 ⑤第四類危険物の概要 ⑥問題演習 教材 乙種危険物取扱者受験教科書 一人一台端末による問題演習	【知識・技能】 ①危険物取扱者乙種４類の物理学と化学の基礎知識について理解できる。 ②危険物取扱者乙種４類の危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法について理解できる。 【思考・判断・表現】 ①危険物取扱者乙種４類の物理学と化学の基礎知識について練習問題・模試を正解することができる。 ②危険物取扱者乙種４類の危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法について練習問題・模試を正解できる。 【主体的学習に取り組む態度】 ①積極的に練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	D 危険物に関する法令 【知識及び技能】 政令における用語、制度、技術上の基準について理解し、説明をすることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 危険物取扱者乙種、政令の練習問題を８割正解することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復習することが出来る。	・危険物に関する法令 ①消防法 ②危険物の規制に関する政令 ③危険物の規制に関する規則 ④問題演習 教材 乙種危険物取扱者受験教科書 一人一台端末による問題演習	【知識・技能】 ①危険物取扱者乙種４類の消防法に関する法令について理解できる。 【思考・判断・表現】 ①危険物取扱者乙種４類の消防法に関する法令について練習問題・模試を正解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①積極的に練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3学期	E　環境社会検定試験 【知識及び技能】 環境問題に取り組んでいく上で必要とされる基礎的な知識理解し、説明をすることが出来る. 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題の様々な事象や課題に対してどう問題解決を目指して立ち向かうのか考え発表することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復習することが出来る。	・地球を知る ①地球の基礎知識 ②いま地球で起きていること ・環境問題を知る ①地球温暖化と脱炭素社会 ②エネルギー ③生物多様性・自然共生社会 ④地球環境問題 ⑤循環型社会 ⑥地域環境問題 ⑦化学物質 ⑧災害・放射性物質 教材　ｅｃｏ検定公式テキスト 一人一台端末	【知識・技能】 ①環境と経済を両立させた持続可能な社会の推進に向けて、環境に対する幅広い知識を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①環境社会検定試験の練習問題・模試を正解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①積極的に環境社会検定試験練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 62

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　環境化学　　科目 多摩の自然

教　科：　環境化学　　科　目：　多摩の自然　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　G　組～　　組

教科担当者：（　組：野村　）　（　組：新城　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 自作プリント　　）

教科　環境化学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】環境化学について資源及びエネルギーの有効利用や化学技術を活用した環境の保全を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】環境化学に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の発展に対応し解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】工業技術を活用して環境の保全に貢献する力の向上を目指して自ら学び、化学工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　多摩の自然　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多摩地域の自然環境に関する知識と理解を深める。身近な自然環境から地球環境問題とのかかわりを理解し、環境保全のために各自ができることや心構えを学ぶ。	多摩地域の諸問題をさまざまな観点から総合的にとらえ考察できる。	多摩地域の自然に強い関心をもち、意欲的に課題を追及するとともに、課題の解決に向けて考える態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 多摩の自然について 【知識及び技能】 多摩地域の自然環境に関する知識と理解を深める。身近な自然環境から地球環境問題とのかかわりを理解し、環境保全のために各自ができることや心構えがある。 【思考力、判断力、表現力等】 多摩地域の諸問題をさまざまな観点から総合的にとらえ考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多摩地域の自然に強い関心をもち、意欲的に課題を追及するとともに、課題の解決に向けて考える態度を身につけている。	・多摩の自然について ・雑木林の春の自然 ・多摩川環境調査① ・奥多摩の野生生物	【知識・技能】 多摩地域の自然環境に関する知識と理解を深める。身近な自然環境から地球環境問題とのかかわりを理解し、環境保全のために各自ができることや心構えがある。 【思考・判断・表現】 多摩地域の諸問題をさまざまな観点から総合的にとらえ考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多摩地域の自然に強い関心をもち、意欲的に課題を追及するとともに、課題の解決に向けて考える態度を身につけている。	○	○	○	15
2学期	B 多摩の自然について 【知識及び技能】 多摩地域の自然環境に関する知識と理解を深める。身近な自然環境から地球環境問題とのかかわりを理解し、環境保全のために各自ができることや心構えを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 多摩地域の諸問題をさまざまな観点から総合的にとらえ考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多摩地域の自然に強い関心をもち、意欲的に課題を追及するとともに、課題の解決に向けて考える態度を身につけている。	・外来種問題 ・鳥を見れば環境がわかる ・鳥類の観察 ・日光橋公園の観察 ・多摩川環境調査② ・里山の自然について	【知識・技能】 多摩地域の自然環境に関する知識と理解を深める。身近な自然環境から地球環境問題とのかかわりを理解し、環境保全のために各自ができることや心構えがある。 【思考・判断・表現】 多摩地域の諸問題をさまざまな観点から総合的にとらえ考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多摩地域の自然に強い関心をもち、意欲的に課題を追及するとともに、課題の解決に向けて考える態度を身につけている。				22
3学期	C 多摩の自然について 【知識及び技能】 多摩地域の自然環境に関する知識と理解を深める。身近な自然環境から地球環境問題とのかかわりを理解し、環境保全のために各自ができることや心構えを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 多摩地域の諸問題をさまざまな観点から総合的にとらえ考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多摩地域の自然に強い関心をもち、意欲的に課題を追及するとともに、課題の解決に向けて考える態度を身につけている。	・多摩の自然を生かす	【知識・技能】 多摩地域の自然環境に関する知識と理解を深める。身近な自然環境から地球環境問題とのかかわりを理解し、環境保全のために各自ができることや心構えがある。 【思考・判断・表現】 多摩地域の諸問題をさまざまな観点から総合的にとらえ考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多摩地域の自然に強い関心をもち、意欲的に課題を追及するとともに、課題の解決に向けて考える態度を身につけている。				8 合計 45